

第13回東京都家庭的保育者研修会

平成27年度から国では家庭的保育が地域型保育事業の一つとなり、認可となった家庭的保育者と、従来の東京都の地方単独事業で保育している家庭福祉員の立場がありますが、0歳から3歳までの少人数のあたたかい家庭的保育を実施していることに変わりありません。

一部では、東京都の富山新課長から、国制度、都制度についての考え方や、昨年からはまった保育士等キャリアアップ補助、保育サービス推進事業、保育力強化事業などについて伺います。

二部では、松家先生による、小さな保育室でも可能な「パネルシアター」や「ふれあいタオルあそび」の楽しい実演です。明日からの保育で実践できます。是非、補助者の方と一緒にご参加ください。

日時：平成28年 11月23日(祝) 13:00~16:30

会場：都民ホール（都議会議事堂1階 新宿区西新宿2-8-1）

定員：288名

参加費：3,000円(資料代含む)

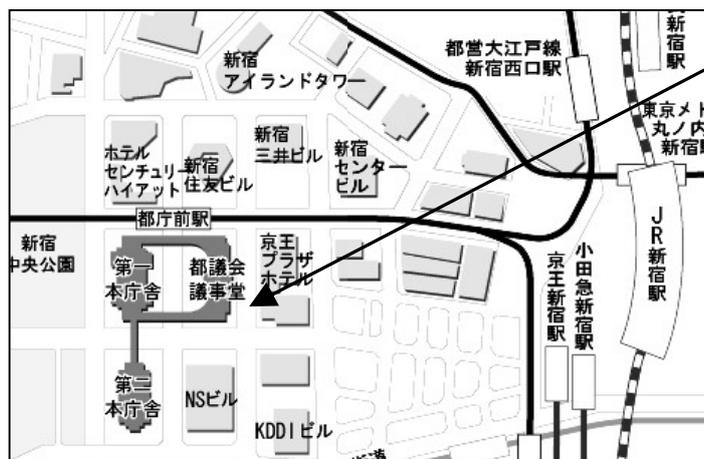
***東京都家庭的保育者の会・多摩地区家庭的保育者の会の会員は割引あり:会員2,000円**

資料として、国や東京都の地域型保育に関する印刷物及び、二部で使用するタオルとパネルシアターを配布します。

第1部 東京都福祉保健局少子社会対策部保育支援課 富山 貴仁 課長

第2部 パネルシアター作家 松家 まきこ 氏

*保育補助者の方や会員外の方、小規模保育事業C型の方のご参加も歓迎です。



都民ホール

JR「新宿駅」西口より(西口地下道)徒歩10分
地下鉄大江戸線「都庁前駅」A3出口徒歩0分
(会場への入り口は都議会議事堂1F

北側通用口のみです)

※研修の受講修了証は、当日終了後に
出口で配布します。

主催：東京都・東京都家庭的保育者連絡会

協力：東京都家庭的保育者の会・多摩地区家庭的保育者の会

※受講決定者には特にご連絡しませんので、直接会場にお出で下さい。

❀ 「パネルシアター」 & ふれあいタオルあそび」のご案内 ❀

パネルシアター作家の松家先生に、小さな保育室でも実演が可能な低年齢児向きのパネルシアターと、ふれあいタオルあそびを教えてください。配布物として「パネルひろば」と、ふれあいタオルあそび用のタオルを配布します。「パネルひろば」は、明日からの保育ですぐに実演ができるセットです。

同じ保育室から複数名ご参加の場合は『パネルメイト(「ぞうさん」又は「おおきなかぶ」)+Pペーパー』に変更も可能です。

パネルシアターの特徴？

毛羽立ちの良いふわふわの不織布(パネル布)を貼った舞台(パネル板)にPペーパーという不織布に描いた絵(絵人形)を貼ったりはがしたりしながら、歌やお話を演じます。絵の配置や向きを自由に動かしながら、生の声で語りかけ、演じ手と観客が対話しながら進めていくところがパネルシアターの大きな特徴です。今回は、伝統的なパネルシアターの演じ方に加え、少人数保育でも活用しやすい、小さなパネル板での演じ方もお伝えします。

パネルシアターの魅力！

パネルシアターは、視覚に訴え、子どもたちの様子や特徴に合わせた言葉かけができることから、「子どもが興味関心を寄せやすい」「集中して見聞きしやすい」「演じ手に親しみをもち、安心感が持てる」「参加しやすく言葉や表情が自然に引き出される(育つ)」というよさがあります。

ふれあいタオルあそびとは？

身近な素材のタオルを使って、ふれあい遊びから、ゲーム、表現遊びまで、保育の幅がぐんと広がる技をたくさんご紹介します。

配 布 物

【パネルひろば】

セット内容 パネルひろば本体(たて29.7×42cm)

カラー印刷不織布B4(2枚)

収納袋・説明書(A4 4P)・演じ方DVD

POINT ・片手サイズのミニパネルだから手軽に使える！・印刷済不織布だからすぐに使える！・演じ方DVDつきだからわかりやすい！



パネル広場・動画

検索

松家まきこ先生 プロフィール

パネルシアター作家。淑徳大学/駒沢女子短期大学/鶴見大学短期大学部講師。親子教室「びよんびよんくらぶ」代表。家庭教育相談員。学生時代にパネルシアター作家としてデビュー。東京都公立幼稚園教諭を経て、現在、全国の幼稚園、保育所、子育て支援センターでの公演、保育者向け講習会等を行う。

主な著作：保育のいきいきパネルシアター(大東出版社) CD：ふれあいタオル遊び(メイト)

作品：そっくりさん(大東出版社)、だるまさん(アイ企画)、おばけセット(アスクミュージック)他